



# 第11回 関西ライフサイエンス リーディングサイエンティストセミナー



本セミナーは、ライフサイエンス分野で最先端の研究を展開されている関西の先生方にご講演をいただき、製薬、医療機器、診断薬、健康食品、医療関係者などのライフサイエンス関係者および一般の方々に、健康・医療産業に対するインスピレーションと産業化へのイマジネーションを感じていただくことを目的としています。このことは、産官学にわたる組織横断的なコミュニティの醸成と、産官学の対話促進につながるものと期待しています。

本セミナーは、3か月に一度の頻度で開催し、毎回2名の講師の先生から、最先端の研究についてホットな話題をお聞きいただけます。また、交流会では講師の先生と直接お話しいただけます。皆様のご参加をお待ちしております。

記

日時：2017年 **3月9日（木）** 15:00-18:00

会場：ナレッジキャピタル カンファレンスルーム (C05)

(グランフロント大阪 タワーC 8階)

地図 → [http://www.kc-space.jp/accessmap/conference/towerc\\_access.html#jump](http://www.kc-space.jp/accessmap/conference/towerc_access.html#jump)

参加費：無料（交流会：1,000円）

主催：NPO法人 近畿バイオインダストリー振興会議・公益財団法人 都市活力研究所

共催：NPO法人 バイオグリッドセンター関西

後援：大阪医薬品協会

講演 I 15:00-16:00

## 「実用化された最新クライオ電顕技術 ～創薬への応用～」

大阪大学・蛋白質研究所 准教授 岩崎憲治

電子顕微鏡は透過型電子顕微鏡（TEM）として1930年代初頭に発明され、早くに商品化されました。80年以上たったこの古い装置が、なぜ今頃になって注目されるようになったのでしょうか。それは、一般的な生体分子の“構造情報”をようやく“原子レベル”で得ることができるようになったからです。2013年以降から爆発的な勢いで結果を出し始め、新しい構造解析ツールとして認知されるようになりました。どのような技術革新が本装置を変えたのか、その謎を本セミナーを通して御紹介致します。

講演Ⅱ 16:00-17:00

## 「腸内環境が導く生体応答の基礎的解明と健康科学への新展開」

医薬基盤・健康・栄養研究所 プロジェクトリーダー 國澤 純

近年、健康維持・増進における腸の役割が注目されています。そこでは「腸内フローラ、食、腸管免疫」といった多数の因子が関与した腸内環境が形成されています。近年の分析技術の発展や学術情報の集積により、今まで漠然としたイメージであった腸と健康の実体が明らかになってきています。本講演では、脂質やビタミンといった食事成分や腸内フローラを介した生体制御に関する学術的知見と、それらを応用した機能性食品やワクチンの開発、創薬などへの展開、さらには現在、医薬健栄研が取り組んでいる健常人コホートを活用した健康科学研究を中心に、最新の知見を紹介したいと思います。

17:00-18:00 交流会・名刺交換会

申込先：参加希望者は2017年3月9日（木）までに、公益財団法人都市活力研究所のWEBサイトからお申込みください。ただし、定員（70名）に達し次第、締め切らせていただきます。

URL：<http://www.urban-ii.or.jp/>

問合先：NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議 事務局 電話：06-4963-2107（梅村、松村、大嶋）  
公益財団法人都市活力研究所 電話：06-6359-1322（味村、會澤）